

さざなみ編集部が♪勝手に♪セレクト

## ♪1分で読める生活と自治♪



～読みたいけれど時間が無くてついつい本棚に閉まっていませんか？

### そんなあなたと考えたい記事を紹介！詳細は“生活と自治”を見てね～

給食のこと、ヨウ素剤のこと、びわ湖のこと、こうなったらしいなあ～と思う時、やはり暮らしと政治は切り離すことができないと感じます。10月号連載～この人に聞きたい～には米国の選挙、コロナ渦でより広がった格差等について書かれています。貧困層ほど、リモートワークへの切り替えの難しい飲食店店員やタクシードライバー等が多い、狭い家に三世代で暮らしている、食事も安価なファストフードで済ます、医療保険未加入で病院に行けない等の理由で、もともと弱い立場にいる人たちが感染症拡大の影響でより大変な状況になっています。これは日本でも同じかもしれません。またSNS普及により未だ人種差別がある現実が全世界に広まりBLM(Black Lives Matter)運動も大きくなっています。

こうした情勢の中行われる大統領選挙。これまで米国では本当に困っている人たちが給料が減るので仕事が休めない等の理由により有権者登録や投票に行けず、選挙に自らの意思を届けるのが難しい現状があったようです。今回の大統領選で、まだ課題はあるようですが郵便投票が一部の州でも始まり少し現状が変化しているようです。社会の“本音”をきちんと届ける選挙。どの国でも大切なことです。

## ♪あったらいいな！こんな場所@大津学区会♪



7、9月に各地域で行った学区会では「こんな場所あったらいいなあ」「こんなことしたいなあ」という皆の夢を話し合いました。大津学区会では「実際に“あったらいいな！こんな場所”をやってみよう」ということで、～みんなで作って、おそらくシェア会～を開催！お仕事や幼稚園終わりに合わせて15時からスタート！ひじき煮、切り干し大根、ポテトサラダ、にんじんシリシリなど、一口ずつ試食してあとは持ち帰って夕食に！みんなで作るとアッと言う間！

日々続く夕食作り・・地域にこんな“居場所”があったら毎日のごはん作りも楽しくなっちゃいますね(^^)/

## ♪組合員の力はスゴイ！首里城カンパ報告♪



昨年10月に火災を受けた首里城の再建カンパを実施しました！

結果、31,106,500円のカンパが集まりました。そのうち、私たち滋賀の組合員のカンパ額は225,500円！一つの団体としてはとても大きな額だったようで、玉城デニー沖縄県知事が生活クラブへ表敬訪問を希望されているそうです。

生活クラブと沖縄の生産者・製造元との提携は、約40年前、真塩や素精糖をつくる(株)青い海との出会いから始まりました。今では8つの生産者・製造元とつながりを築いています。

沖縄の経済を支える観光資源だけでなく、歴史、文化、沖縄の人々の誇りやアイデンティがつまっているとも言われる首里城。滋賀の地から再建を願います。